

平成 29 年 2 月 15 日

報道機関各位

「響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業者公募」の選定結果について

北九州市では、改正港湾法に基づき標記公募を行い、外部有識者で構成する「響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業に係る事業者評価・選定委員会」における審査・評価結果を参考に、以下のグループを占用予定者（優先交渉者）に選定しましたので、お知らせいたします。

1 選定グループ

| | |
|------------|--|
| コンソーシアム名 | ひびきウインドエナジー |
| コンソーシアム構成員 | 代表企業：九電みらいエナジー 株式会社 構成企業：電源開発 株式会社 ：株式会社 北拓 ：西部瓦斯 株式会社 ：株式会社 九電工 |

2 公募の概要

(1) 目的

北九州市では、響灘地区の有するポテンシャルを活かし、「風力発電関連産業の総合拠点」の形成などを目指して、平成 22 年度から「グリーンエネルギーポートひびき」事業を推進している。これまでの取組みを通じて風力発電関連産業の集積が進んでいるが、この取組みを更に進めるため、北九州港港湾区域で洋上風力発電施設の設置・運営に関する企画提案を募集した。

(2) 経過

- ・公募占用指針の配布 平成 28 年 8 月 19 日～10 月 18 日
- ・公募説明会 平成 28 年 9 月 7 日
- ・公募占用計画の受付 平成 28 年 10 月 3 日～10 月 18 日
- ・審査・評価・選定 平成 28 年 10 月 19 日～平成 29 年 2 月 14 日
- ・選定結果公表 平成 29 年 2 月 15 日

【問い合わせ先】

北九州市港湾空港局
エネルギー産業拠点化推進課
TEL：093-582-2994
FAX：093-582-2998
担当：下野、中嶋

選定した事業者による企画提案(公募占用計画)の概要

1 事業実施方針

- ・ 風力発電事業や海洋工事等の各分野で豊富な知見を持ち、北九州市において地域密着の事業を展開する地元連合でコンソーシアムを構成。
- ・ 事業期間を通じて地域の方々のご理解を得るとともに、地域経済の発展に貢献するよう努め、北九州市の事業である「グリーンエネルギーポートひびき」の実現を目指す。
- ・ 公募水域の全域を対象に風車の離隔距離、水深や藻場等を考慮して風車の配置計画を策定。

2 計画概要(予定)

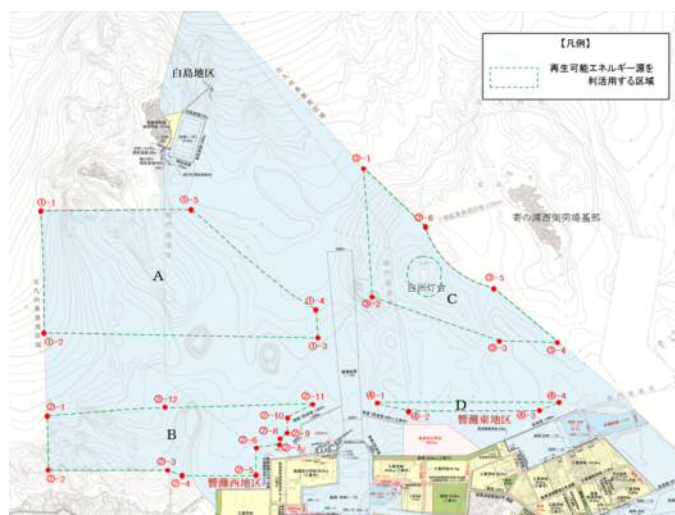
- ・ 風車基数：最大 44 基
- ・ 総事業費：1,750 億円程度
- ・ スケジュール：平成 34 年度～ 着工、順次運転開始

3 計画のポイント

- ・ 風車積出拠点の形成：欧州先進港をモデルとしたプレアセンブル(仮組立)及びプレコミッションング(事前点検)拠点の設置とヤードオペレーターの事業創出。
- ・ 輸出入/移出入拠点の形成：主要部品の輸入/移入、風車製造及び部品調達に際し地元企業の採用を通じての輸出入/移出入拠点の形成。
- ・ 産業集積：㈱北拓によるO&M(運転管理・保守点検)拠点の設置や新日鉄住金エンジニアリング㈱でのジャケット式基礎製作の拠点化。増速機製造拠点の設置の検討。
- ・ 地元企業への貢献：建設～設置の各段階で地元企業を積極的に活用。地元部材採用に向けた働きかけや地元企業の競争力強化に資する支援の場を提供。
- ・ その他：非常時電力の供給策の検討、風車基礎部分の漁礁化や調査データの提供などの漁業貢献、観光需要の創出、市民環境学習への貢献、市民の事業参加の仕組みの検討。

4 事業実施区域

公募占用指針に示した公募対象水域の全エリア(A～D区)で事業実施予定。



「響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業に係る 事業者評価・選定委員会」による検討結果

1 評価・選定委員会開催日

第1回 平成28年8月3日 第2回 平成28年12月14日
第3回 平成29年1月13日 第4回 平成29年1月24日

2 委員

| 所 属 | 氏 名 |
|--|------------|
| 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 | 石原 孟 |
| 独立行政法人 経済産業研究所 上席研究員 | 岩本 晃一 |
| 一般財団法人 みなと総合研究財団 理事長 | 鬼頭 平三 |
| 九州共立大学 名誉教授 | 小島 治幸 (座長) |
| 早稲田大学商学大学院 講師 | 佐藤 裕弥 |
| 北九州市立大学国際環境工学部 教授 | 二渡 了 |
| 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 海洋研究領域 海洋利用研究グループ長 | 米山 治男 |

3 評価・選定委員会による評価結果

各コンソーシアムより提出された公募占用計画の評価・選定委員会での評価結果は下表のとおり。

| 評価項目 | 配点 | 応募者名 (コンソーシアム名) | | | | |
|---------------------------|-----|------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | ひびきウインドエネルギー (代表企業:九電みらいエネルギー㈱) | A グループ | B グループ | C グループ | D グループ |
| 事業実施の確実性 (評価項目のア～オ) | 200 | 178.5 | 158.7 | 124.3 | 84.7 | 27.9 |
| 港湾・地域への貢献 (評価項目のカ) (※) | 100 | 78.6 | 63.7 | 58.6 | — | — |
| 合計 | 300 | 257.1 | 222.4 | 182.9 | — | — |

(※) 公募占用指針に基づき、「ア～オ事業実施の確実性」の評価結果が上位の応募者についてのみ評価。

4 評価・選定委員会の結論

各コンソーシアムから提出された公募占用計画について、港湾法及び公募占用指針に沿って評価を行った結果、当委員会は、北九州市に対し、九電みらいエネルギーを代表企業とするコンソーシアムが占用予定者として最も適切である旨助言する。